

James Molloy - MIRA Newsletter #8

J I Mのみしまものがたり⑧

梅雨。英語ではRainy season。

多くの人が憂鬱に感じるこの季節ですが、梅雨のどんよりとした空や、じめっとした空気、霧のかかった山々に、私はどこか懐かしさと心地の良さを感じます。私の育ったカナダのニューファンドランドは、日本に比べて雨や霧が多い土地です。梅雨の時期は、故郷で過ごした幼少時代を思い出させるのです。ニューファンドランドの天気について、よく言われている事が二つあります。一つは「今の天気が嫌なら、5分待てばいい。すっかり変わってしまうから。」、二つ目は「霧のニューファンドランドが最も美しい。」です。カラフルな街並みが白い背景に浮き上がり、普段の静かな街が神秘的な様相へと一変するからです。

梅雨といえば、夏が近づいている合図でもあります。お祭りや花火、海水浴など、楽しみはたくさんありますね。皆さんはもう何か予定を立てましたか？もしも、ニューファンドランドを訪ねる機会があれば、絶対に夏がおすすめです。海岸線の岩場のハイキングや、氷山が残る入り江でのホエールウォッチングなど、夏を満喫できるアクティビティがたくさんあります。

さらに、毎年8月の第2水曜日には、北米で最も古いスポーツイベント、ロイヤル・セントジョンズ・レガッタが開催されます。18世紀から続くこのイベントは、6人1チームとなり、街の中央にある湖の1.25kmのコースをボートで競うお祭りです。湖の周りには何万もの人々が集まり、レース観戦はもちろんのこと、バンド演奏や地元の店が出す食べ物を楽しむのです。

セントジョンズでは、このレガッタが開催される日は市民の休日とされています。悪天候の場合にはレガッタは延期されるため、セントジョンズの市民にとって、その日が休日になるかどうかは、天候次第ということになります。ニューファンドランドには、てるてる坊主の習慣はないのですが、もしあるとしたら、当然レガッタの前日の火曜日は街中がてるてる坊主でいっぱいになるでしょう。

私はといえば、今年はてるてる坊主なしで、梅雨の気まぐれな雨を楽しみたいと思っています。



竣工式で田中先生は、妊産婦の皆様が安心安全に出産に臨む事ができ、産後も楽しみながら育児生活を過ごして頂ける様に整備しましたが、このことは当院の使命と考えております。加えて、災害発生時には水を確保し、少しでも地域の皆様のお役に立つような施設にしたいという気持ちから庭を造成しました。また、"うぶ湯の泉"と名付けた湧き水は箱根水系で約20度近い水温が

あり、飲料水にも適しており、新生児の産湯にも使えます。苑内の"せせらぎ"には富士山系の桜川の水も混じって流れしており、この"せせらぎ"の奏でる水の音楽に耳を澄ませて、少しでも心なごま



庭苑「水精苑」

せて頂けましたら幸いですと挨拶されました。青々とした苔が植えられ、常緑樹・落葉樹がバランスよく配置された園内は、四季折々に風情が楽しめます。三島の歴史を感じさせる建物と庭園は新しい三島の魅力として期待されます。当面は関係者のみの利用とのことですが、いずれは多くの方に披露したいとの発言もありますので、市内散策の方への一服処となりましたら良いですね。